

# みんなの議会

第**73**号

令和5年  
8月号

## 大浜海水浴場

海開きの様子

P 2~3

予算

補正予算

P 4

審議

私の判断

P 6~15

町政を  
問う

一般質問 10名が登壇

## (議案第3号)

## 一般会計補正予算(第3号) 20日会議

## 1億3千22万円を追加補正

73億9百82万8千円 **可決**

## 6月定例会

6月定例会は7日から20日までの会期14日間で審議いたしました。

8日会議は、令和4年度一般会計補正予算の専決処分を含む報告(6件)、基金条例の一部を改正する条例制定の件(1件)が報告・提案され原案は可決されました。

7日・8日には一般質問が行われ、10名が登壇し、行財政全般に渡って質問しました。

20日最終会議では、令和5年度予算に、追加の一般会計補正予算を含む補正予算(4件)、発委(2件)、追加提出された教育長の任命について同意を求める件(1件)、農業委員会委員の任命について同意を求める件(12件)が提案され、説明、質疑、採決にて補正予算は原案可決、任命については同意多数で可決されました。

6月定例会は、14日間の審議すべて原案のとおり可決及び採択いたしました。

## ● 主な専決処分

- 令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書について(9千1百77万5千円 繰越)
- 令和4年度水道事業会計繰越明許費繰越計算書について(4百80万 繰越)

- 令和4年度一般会計補正予算(第14号)の専決処分(6千5百6万9千円 減額)

- 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分(2億5千9百49万9千円減額)

- 令和4年度診療所事業特別会計補正予算(第7号)の専決処分(1千60万8千円 減額)

- 令和4年度介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第4号)の専決処分(1億9百44万6千円 減額)

- 令和4年度介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第4号)の専決処分(1億9百44万6千円 減額)

## ● 主な条例改正

- 南大隅町青少年研修基金条例の一部を改正する条例制定

第2条中「3千30万」を「3千60万」に改める



# 6月補正予算の注目すべき事業（一般会計）

当初予算に加え、今回補正で本年度の各事業費が計上され、すべて原案のとおり可決しました。主な事業等は次のとおりです。

総務課  
デジタル推進係

## 「デジタル推進事業」

新規事業

4月より発足されたデジタル推進室を活用し、庁舎内外のAI・ICTを推進します。南大隅町デジタルファースト宣言に基づき「マイナンバーカード活用」電子申請書等の技術を活用した効率的な行政運営を行うことを目標に取り組む事業費です。

補正予算額： **5,140** 千円

【財 源】 町負担

商工観光課  
政策調整係

## 「企画提案型まちづくり助成事業」

自主的・主体的活動や地域づくりを促進するため、「町民」または「町内に拠点を置く団体」に対し、企画提案する事業を支援します。令和5年度、3件分を追加増額する事業予算です。

補正予算額： **1,500** 千円

【財 源】 町負担（ふるさとおこし基金）

教育振興課  
教育総務係

## 「佐多地区小中一貫校施設改修設計委託事業」

令和7年度より開校予定の佐多地区小中一貫校の、児童生徒及び教職員の学習環境整備事業費です。

補正予算額： **2,257** 千円

【財 源】 町負担・地方債

介護福祉課  
福祉係

## 「低所得世帯支援給付金」

コロナ禍において、「電力・ガス・食料品等」物価高騰の影響を特に受けている（令和5年度住民税非課税世帯等）に対し1世帯あたり3万円の現金支給支援

補正予算額： **54,457** 千円

【財 源】 町負担・国庫補助金

水道事業会計  
建設課水道係

## 「南大隅町水道基本料金減免措置事業」

コロナウイルス感染症が未だ住民生活に影響を及ぼしていることから、基本料金6ヶ月分減免し経済的負担の軽減を図ります

補正予算額： **13,500** 千円

【財 源】 国庫補助金

# 私の判断

(○…賛成、×…反対)  
(欠…欠席)

※議長は評決には加わりません。

## 6月の議案審議結果 (令和5年6月8日審議)

結果	後藤道子	森田重義	日高孝壽	浪瀬敦郎	上之園健三	津崎淳子	平瀬十助	大村明雄	幸福恵吾	大坪満寿子	木佐貫徳和	松元勇治
令和4年度南大隅町一般会計繰越明許費繰越計算書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度南大隅町水道事業会計繰越明許費繰越計算書について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度南大隅町一般会計補正予算(第14号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算(第7号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和4年度南大隅町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第4号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例 南大隅町青少年研修基金条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

## (令和5年6月20日審議)

令和5年度南大隅町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度南大隅町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和5年度南大隅町水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意 教育長の任命について	同意可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
農業委員会委員の任命について(同意第3号~14号)12名	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発委 南大隅町議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

**同意**

### ◆同意第2号

教育長を任命しました

南大隅町教育長に、山下四郎氏の任命に同意しました。  
任期は、令和5年7月1日から3年間です。

### ◆同意第3号~14号

農業委員会委員12名を任命しました

任期は、令和5年7月20日から3年間です。

**発委**

### ◆発委第1号

南大隅町議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定を可決しました

地方自治法の一部改正により、300万円までは、議員個人による町との請負が規制の対象から除かれることになり、請負の状況を公表すること等により、請負の状況の透明性を確保し、よって議会運営の公正及び事務の執行の適正を図るため。

### ◆発委第2号

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書を可決しました

現行の譲与基準では、人口の多い都市部への配分が多く、早急な整備を必要とする森林を抱える地方自治体(南大隅町を含む)への適正な配分が行われず、防災上の観点からも森林整備を促進する財源とされた趣旨を損なうことが懸念されており、森林の多い市町村への配分を高めるよう譲与基準の見直しを求めるため。

町政を問う!

6月会議

# 一般質問



質問順	質問事項	質問議員
1	・公共土木施設の災害復旧事業について (6 ページ)	木佐貫 徳 和
2	・農業所得安定対策について (7 ページ)	上之園 健 三
3	・公園等の遊具施設について ・環境整備について (8 ページ)	津 崎 淳 子
4	・根占港海岸 (洲崎地区) の海岸堤防工事について ・根占港内の整備について (9 ページ)	平 瀬 十 助
5	・防災対策について ・地域福祉について (10 ページ)	後 藤 道 子
6	・子ども医療費助成事業について ・肝属郡医師会立病院建替え計画について (11 ページ)	大 坪 満 寿 子
7	・防災・減災対策について ・空き家店舗の活用法について (12 ページ)	松 元 勇 治
8	・外郭団体の施設について ・最近の畜産経営の実態について (13 ページ)	浪 瀬 敦 郎
9	・町民の「安全・安心」について ・商工業の活性化について (14 ページ)	森 田 重 義
10	・就業支援について (15 ページ)	幸 福 恵 吾

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人当たり持ち時間は、答弁を含め 60 分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

## 集中豪雨や台風等の 災害報告ができる採択基準は



**町長**  
日雨量80ミリ、時間雨量20ミリ、  
平均風速15m以上

**議員** 町内を回ってみて、災害  
工事で済ませている箇所が相当あ  
る。町道山神・瀬戸山線について、  
災害申請しなかった理由と工事費  
の把握はしておられるのか。

**建設課長** 道路部分の範囲が少な  
く、採択要件の金額60万円  
に満たないと判断し、災害申請し  
ませんでした。町単独の事業費は  
152万でした。

**議員** 査定を受けると、危険  
性があれば内応急、全応急  
制度がある。本当に危険であれば、  
町単でしなくても、事前に着工で  
きる。152万円の町単工事との  
答弁であったが、66.7%の補助率  
で100万円の補助金が出る。残

りは50万円の災害の起債がきいて  
町費はわずか2万で済む。この弊  
害は高齢の職員が退職し、引き継  
がれてこなかったのが一番の要因  
では。災害事務未経験者の理解不  
足ではないかと思う。そこで、県  
の建設技術センターの災害復旧実  
務研修に参加させることはできな  
いか。

**町長** 3名の職員が退職をし  
た中で、引継ぎ等がされて  
いないこと、今までの技術の研鑽、  
災害をかけるための手法・考え方  
等が、伝授されていないことが要  
因だと考えます。公共土木・農業  
施設等も含めて、技術センターの  
研修に可能な限り行かせるように  
いたします。

**議員**

次に、古里川であるが、  
ここは、令和5年度の予算  
審議も終わり、質問するのは好  
ましくないと十分理解しているが、  
私の記憶では、上流は数百メート  
ルにわたって護岸決壊をし、災害  
で申請して実施していた。今年度、  
5千万円ほど町単で計上されてい  
るが、護岸決壊をしているのに災  
害申請ができなかったのか不思議  
である。できるだけ国の制度を利  
用して事業を進めるよう、職員の  
意識の改革が必要と思うが町長の  
率直な意見は。

**町長**

本来、民地界に入って  
いる崩壊は基本的に河川災  
害であるので標準的にはブロック  
積であるべきである。そこに至っ  
ていないのは、職員の災害に掛け  
ようという意識がなかったという  
ことだと感じます。我々の時代は  
最低価格が上がる以上は災害に掛  
けると指導も受けました。今後、  
建設課技術職員に指導してまいり  
たい。

**議員**

災害報告は、職員が（単  
独で）判断しないことだと  
思う。60万以上という総合単価  
があるので、振興局に相談し、申  
請したあとは査定官と立会官が決

めてくれる。次に、現在、災害復  
旧工事中である横別府上線である  
が、崩土があり、予算を要求した  
時、内応急制度があるので、申請  
すると補助金がもらえると伝えた。  
ところが明るる日には、町単で取  
り除かれていた。除去費用はいく  
らだったか。

**建設課長**

崩土取り除きで61万円か  
かりました。

**議員**

毎年、2〜3百万円修繕  
料が組まれて、災害が起こ  
った時、さつきと取り除きをする。  
この内応急制度を申請すると、決  
定額に上乘せしてもらえるので利  
用してほしい。



護岸決壊している古里川

### 議員のひとり言

道路・河川に災害が発生したら、国の制度を活用しよう...

# 出荷作物の「最低価格補償制度」は考えないか



**町長** 必要性は感じる・関係機関と協議検討を!

**減少する農家の維持と保護策は**

**議員** 本町の農家数は平成22年あった農家が、令和2年には378戸まで減少。個人農家については10年間で40%の230戸が離農されている状況であり、近年ではさらに減少しているものと考えるが、農家の維持と保護策はどのように考えるか。

**町長** 人口減少と比例して農家数が減少している。支援策として、農作業の省力化や合理化等を含んだ設備投資への支援策、実働型農業公社での支援策の取り組みを進める。

**出荷作物の最低価格補償制度の制定は考えないか**

**議員** 馬鈴薯・インゲン・スナックプえんどうなど、多種類の農作物出荷のある中で、農協出荷の馬鈴薯実績を例として示す。過去7年間の平均単価を示すと下表のとおりである。

馬鈴薯においては10キロ当たりの生産ラインが以前は千円程であったが、物価高騰の影響により現在では千四百円から千五百円と言われる。この市場単価は、生産者は元より行政関係者においてもどうにもできない単価であり、且つ、農業経営の基礎となるものである。災害等における減収補填は国県の補助金等も度々実施されているが、平年における作

物単価に着目した補填制度は無い現状。農家が赤字生産にならないように、最低価格の補償制度を設けて、仮にその単価を千五百円と設定した場合、市場単価が千五百円を下回った時にその差額を補填するなど農業収入の安定化対策は考えられないか。

**町長** 出荷作物の最低価格補償制度は、農家にとって望む制度であると考えているが、現在進行中の他の農業施策の事業成果を検証する中で必要性を含めて、JA等の関係機関と協議検討して取り組む。

**議員** 農家経営の源は農業収入の増加であることは言うまでもない。これまでの支援策が農作業の労力軽減を主眼に置いた施策であったことに加え、今後は農業収入の補償制度も重要であり、行政の直接的な関与が求められる時代。農業を維持し農家を守るために必要な制度ではないか。

年度	平均単価 (10kg当)
H28	2,467 円
H29	2,164 円
H30	1,199 円
R 1	1,254 円
R 2	1,764 円
R 3	2,912 円
R 4	2,224 円

(JA 資料より試算)

**その財源として基金の創設は考えないか**

**町長** 国県の補助事業・交付金など活用しつつ、第一次産業の振興に取り組んでおり、現在の産業振興基金を幅広く活用することを想定し、新たな基金の創設は現在のところ考えていない。

**議員** 提案する制度の財源確保のため新たな特定目的基金を提案したが、産業振興基金の充当が可能と理解する。提案の制度に係る財源のみならず、既存基金の財源確保のためにも、毎年度の決算において生ずる剰余金の活用を提案する。剰余金の処分は関係法令によって規定されているが、その内の翌年度歳入に繰入れる剰余金の一定割(例えば10〜20%)を基金に積み増すための規定等を設けて確実に財源確保を図る方法を提案する。

結びに、出荷作物の最低価格補償制度は、農家の生産活動の元気の源であり、且つ後継者や新規就農者等に勇気を与える制度になると考える。そして今現在を一生懸命頑張っておられる農家に喜んでもらえる制度であると思うに、ぜひ前向きな取り組みを期待する。

今後は、どの施策も視点を変え、常識を超えた施策の展開が必要な時代になるろう!

議員のひとり言

## 佐多地区に公園等の 遊具施設を設置する考えはないか



町長

必要性は認識しております。令和7年度に小中一貫校の開校に向け準備が進められているため、放課後児童施設なども含め、佐多小跡地の活用を考えていますが、幅広い地域住民の方々の意見を聞いて進めるべきですので、今の段階では、場所や設置年度等については、まだ言明できないところです。

議員

みなと公園の遊具が、要望のたびに順次設置されたが、設置するなら一体的にした方がコスト面でも違うのでは。佐多地区の方々が子育て世代の方たちにとって利用しやすく、住民に寄り添い、憩いの場になるよう、設置に向けて検討していただきたい。

議員

## 町内の公衆トイレの 整備状況について

以前に質問した暖房便座や洗浄機能の設置は検討されたのか。

画光長  
企観課

令和4年度に、雄川の滝、諏訪周辺駐車場、台場公園、佐多岬エントランスを温水洗浄式の便座に、みなと公園は、温座式に改修しました。

議員

大浜海岸の身体障害者トイレも観光客や町民がよく利用するので、温水洗浄式便座を検討していただきたい。また、要望がある所や、町民や観光客の利用頻度の高い所から順次改修していただければ。次に、立神公園のトイレについては、改修され綺麗になったが、男女共用トイレで女性には抵抗があると考えられるので、プライバシー確保のため、中の構造を検討していただきたい。

町長

立神公園のトイレについてはすぐ対応してまいります。

議員

西原台パノラマパークのトイレを水洗化する考えは。

町長

現段階では、水洗化は厳しいですが、利用者等のご意見も賜りつつ、投資額等と照らし合わせて検討できればと考えます。

## 大泊団地前の老朽化したトイレを撤去すると聞いたが、撤去後の周辺整備計画はないのか

町長

町営住宅の整備計画は、年次的に実施しております。大泊団地の整備年度は未定ですが、早い段階で計画してまいります。また、その中でトイレ跡地周辺も含めて一体的な整備を検討していきたいと考えます。

議員

トイレの撤去は、いつ頃の予定か。

画光長  
企観課

業者には発注済みで、履行期限が7月末となっております。

議員

トイレ撤去後は、団地周辺の草刈りも住民の高齢により難しくなるため、駐車場として整備してはどうか。今後、町として団地住民限定の利用とするのか、団地住民の駐車場は確保して、他の方

も利用されるのか、住民の要望等も聞き、検討していただきたい。

## 町体育館、武道館、公民館等の整備状況について

議員

武道館は、1・2階とも男女共用トイレで避難された方々は抵抗があったようだ。

町体育館は、女子トイレは洋式が1ヶ所で和式が3ヶ所。子どもたちは、洋式しか利用しない。高齢者が利用しやすいよう、すべて洋式に変えて欲しいとの町民の声も多い。足腰の負担の軽減化、プライバシー確保、衛生面などを考慮し、老朽化している施設は見直す時期にきているのでは。

育興長  
教振課

大部分の施設が老朽化しています。今後、高齢者や多くの皆様が利用しやすい施設として、状況に応じて、計画的にトイレの改修も行つてまいります。

議員

避難所としての利用もある。早期に改修して頂きたい。子どもから高齢者まで、すべての町民が安心して気持ちよく利用できる施設になればと願う。

## 議員のひとり言

時が変われば、トイレも変わる。



平瀬 十助 議員

根占港海岸、須崎地区の  
海岸堤防工事について

工事の進捗状況と今後の工事予定は



根占港海岸、須崎地区は県管理で、  
堤防の一部は補修が完了。未補修部  
分についても準備が進んでおり、町  
でも引き続き要望していく

町長

議員

町内にはこのような危  
険な箇所がどれくらいある  
のか。崖が崩れそうところ、水  
が出るところ、水が走ってくると  
ころ、風が強くとたるところ、浸  
水しそうなところなど災害が起こ  
るケースは様々である。町長も状  
況把握に努めてこられたとは思  
うが、これから雨や台風の時に入  
り、町民の安心・安全のためにも  
自治会と周辺住民の声に耳を傾け  
つつ、災害対策はもちろんのこと、  
その予防についても配慮を期待し  
たいが、いかがか。

町長

海岸堤防のクラック（割  
れ目）等については県に要

請して、やっと補修に至りました  
が、地元にも大変迷惑をかけまし  
た。別箇所のクラックも、県は新  
たな工事できちんと行うとのこと。  
町の海岸に限らず、いろんな部分  
に経年劣化による影響が出てきて  
います。町民が住むための環境と  
しては海の見える景観の良い場所  
なので、まずは危険箇所について  
はきつちり修復をし、生活環境が  
損なわれないよう、最大限取り組  
んでまいります。

根占港内の整備について

水産振興、産業振興、観光振興の基地と  
して、港内の整備計画を推進する考えは

根占港は県管理で、整備年度は未定だ  
が、岸壁の整備計画が予定されている。  
町としても早期着工に向け、引続き県  
への要望を行っていく

町長

議員

根占港内を拠点として、  
生活の糧を得ている人々、  
水産関係者、組合職員、養殖業者、  
職漁者、遊漁者など約90名、砂販  
売、フェリー関係、合わせると約  
100名の雇用創出があり、経済規模  
も、40億以上あることを認識して  
いただきたい。今回の答弁では、  
岸壁の整備計画について触れてい  
ただいたが、ほかにも、今後増え  
るであろう船の係留の問題、台風  
時の係留のためのピットの問題、  
商船が出入りする東側及び南側船  
溜のしゅんせつ工事の問題、遊漁  
船、一本釣り船の安全な乗り降り  
のための設備の問題など、これら  
多くの要望を一つずつ県につない  
でもらわねばならない。

根占港は古くから、産業の拠点  
であり、整備を含めた振興策を積

極的に取り組んでほしい。

町長

特に根占漁協、養殖にお  
いては40億の産業収入を上  
げていただいているので、そうい  
った方々は昨年の12月に価格補償  
えき代等の補填を行いました。引  
き続きそういった方の支援と含め  
て漁業関係の施設として、町はで  
きることは町で、例えば街灯の設  
置等、県がすべきは県へお願いし  
スピード感を持って漁民の方々の  
支援にも努めてまいりたい。時間  
はかかるが、取り組みの方向性  
についてはご理解いただきたい。

議員のひとり言

ひとつひとつを大切に。ひとりひとりを大切に。

## 地域防災計画の推進は



## 町長 訓練を重ねて、地域防災力の向上に努める考え

議員 地域防災計画の推進はどのようにされているか伺う。

町長 地域における災害対策や防災の安全を期する事項についての事務処理等が整理されており、必要な防災計画の見直しを行いながら、訓練の実施など計画の実効性を高める取り組みを推進し、防災力の向上に努めて参ります。

議員 南大隅町過疎地域持続的発展計画の中に災害危険箇所<sup>①</sup>の把握・点検、周知の徹底を図り地域の危険箇所の解消に努めるとあるが、行政の対応を伺う。

町長 防災の点検は、自治会長との交代時に自主防災組織の在り方等を示して、自治会が自主

防災組織として位置づけてあることは伝えてあるため、自治会長からの届け出のみで、特に調査はしていません。

議員 防災計画の中で、定期的な避難訓練の実施はできているか伺う。

町長 これまで約3年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定期的な避難訓練の実施ができない状況にありました。今後の計画としまして、9月に総合防災訓練の実施を予定しております。

議員 災害発生時のシミュレーションはできているか伺う。

町長 地域防災計画の災害応急対策計画において、災害対策本部の設置、事務分掌及び災害対策要員や関係機関との連携等について定めてあります。防災意識の向上を図るための職員研修は行っていますが、今後も、大規模災害が発生した場合に備えて、職員が実施しなければならぬ業務について訓練を重ねて地域防災力を高めてまいります。

## 見守りセンサー設置の必要性を提言

## 町長 実証実験も含め事業化が可能か検討

議員 昨年の6月の一般質問で、見守りセンサー設置の必要性を提言し、国の保険者機能強化推進交付金を用いて設置費用は全て国が補償して、月々の費用もわずかである。それに、ネット環境も必要なく、電源さえあれば、冷蔵庫に設置するだけで、1日3回見守り、スマホなどで家族の方へ連絡がいく仕組みになっている。高齢者だけの世帯も多い町だからこそ必要と考えるので、再度検討をしていただきたい。

議員 地域防災は自助・共助が一番、対応は自治会との把握ができてくるか、また、避難行動の支援が必要な方々をどうするかなど、台風時の体制は出来ているが、突発的な地震や津波発生時の支援体制まで考えておく必要性を提言する。

福祉課長 今年度、縁広<sup>②</sup>がれプロジェクト<sup>③</sup>のモデル自治会の中でも検討しているかと考えております。



検討だけでなくやってみる事も大事！

議員のひとり言

## 子ども医療費助成事業について



議員 事業内容と助成方法は。

町長 子どもの健康保持増進や子育て世帯の負担軽減を図るため、0歳から18歳到達後の最初の年度末までの期間の医療費を助成する事業です。

助成方法は、一旦医療費を支払っていただき、後日かかった医療費を指定の口座に振り込む方法です。

議員 窓口負担が理由で受診を控え、子どもが重症化する恐れや、受給資格者証を忘れ受診した場合、後日領収書を持って役場に出向き申請手続きをしなければならぬなど手間がかかり、保護者から窓口負担ゼロを望む声が多く聞かれる。

子どもが病気やケガをした時、お金の心配をすることなく、直ぐに病院に駆け込める体制が望ましいと考える。

後日還付する自動償還払い方式

を行っているのは、全国で鹿児島県だけである。

## 県に対し窓口無償化（現物給付方式）導入を要望する考えは

町長 最初からの無償化が望ましいかと思っております。

必要性は重々承知しておりますので、他の市町村と一緒に議題として取り上げ、県へ要望してまいります。

議員 日本の出生率が過去最低と毎年のように報道される。

安心して産み育てることができ環境を整えるということからも、全ての子どもたちの窓口負担無償化を実現するために、

早期の現物給付方式の導入を県へ働きかけていただくよう要望する。



## 肝属郡医師会立病院建替え計画について

議員 昨今の物価高騰から、建設コストが大きく跳ね上がるのが予想されるが、どれ位を見込んでいるのか。

町保健課 物価高騰等によって、幾らコスト高になるかという予想につきましては、非常に困難なものだと考えているところでございます。

議員 地方債を充てるというところが、地方債の種類は何か。また建替え費用30億円は今後どのような形で支払いをされていくのか。

町長 種類は過疎債を利用し、支払いについては費用負担の平準化を図るため30年間にわたり毎年一億円ずつ返済してまいります。

議員 今後の人口状態や、町の財政など、将来を見据えた時、負担について危惧するが、住民サービスなど我が町の財政運営に支障はないか。

町長 財政面に支障がないとは言えませんが、大きく影響はないと考えますが、今できることが、起債の関係で若干抑えるべき部分は出てくると思います。

議員 医師会立病院の重要性、必要性は十分理解している。しかし、町の将来を考えた時、この人口減少のもと、償還額が増えることは大きな心配である。建設事業費を抑えるため、建設規模など見直す事が可能であれば病院当局と両町で協議し、見直していただきたい。町の予算の使い道は、住民サービスが第一。我が町の将来展望を慎重に検討し、財政計画をしっかりと立て、他の事業に支障をきたすことがないよう、町民が納得できる病院建設に向け努力してほしい。

町長 引き続き設計事業者、関係機関の会議で今の30億円を超えない範囲内での病院建設ということに可能な限り近づけていける努力をし、建設の検討委員会等も含めて要請していきたいと考えております。

### 議員のひとり言

我が町の財政運営に負担がかからない病院建設を！！

## 防災・減災対策について



町長 巡回等で、日々の維持管理に努めてまいります

答

議員 砂防堰堤の土砂の堆積状況は把握しているか。

町長 町内の急傾斜地に設置された砂防堰堤は58箇所あり、いずれも県が設置し、管理しているものです。堆積した土砂等の除去が必要な砂防堰堤は現在のところはないうとの回答を得たところです。

議員 平成22年におきた大浜船石川、天目石川、ほか、多数箇所での土石流の災害は住民が長期に避難するなど、生活に不安な状態となった。県の地域振興局の担当の職員にどれくらいの間隔で巡視されるか聞くと5年に1回とのこと。町としては砂防ダム(砂防堰堤)の機能管理は維持している中で町長の意見から、県、国に要望をしていただきたい。



船石砂防堰堤の上流側からの写真

## 支障木対策について

議員 災害が起きた場合、支障木により、孤立する集落や車両などの走行に支障をきたす状況をどのように考えるか。

町長 自治会等からの要望に基づき、緊急措置として町が伐採を行い道路通行の安全確保を行っているところです。

議員 他に家庭用枝粉砕機の自治会への貸し出しや購入補助は。

町長 横別府不燃物処分場の粉砕機で対応しています。

## 空き家店舗の活用法は

町長 「<sup>えんじ</sup>縁広がれプロジェクト事業」等で必要な施策を検討してまいります

議員 道路の排水路の見回りは。

町長 日常的な巡回のほか、雨期前等については危険位置、特に常時、堆積物がある場所等がありますので、十分な対策を取り指示してまいります。

議員 人口減により旧校区にあった店も廃業され、地域住民の生活に不便が生じています。買い物弱者の対策だけでなく地域のコミュニティの核となる多機能を持った所が必要と考えるが。

町長 高齢化による住民の困りごとがないよう、楽しみもある地域づくりに努めてまいります。

議員 地域間格差なくサービスが行き届く、まちづくりに努めていただきたい。

※「<sup>えんじ</sup>縁広がれプロジェクト事業」とは 地域での生活課題を抽出し、解決のための具休案を専門家と一緒に模索し、実際に活動しながら支援体制を構築していく事業

## 議員のひとり言

いつか教訓としたものを試される時がきます。

## 老朽化した外郭団体の施設について



**議員** シルバー人材センター及び老人福祉センターの修復、または建替え移設の検討はなされているか。

**町長** 両施設とも築四十年以上が経過し、老朽化が進むとともに業務の多様化により手狭な状況です。また老人福祉センターについては町の指定避難所でもあることから、建替え等の検討の必要性は十分感じています。町としても今後の方向性や財源等を調査検討し進めてまいります。

**議員** シルバー人材センターは男女兼用トイレとなっております。現在、使用中という札を付けて利用されている。今の時代に不具合が多いのではと懸念している。何年後になるかわからないが、改修の余地について考えはないか。

**町長** シルバー人材センターはもともと森林組合の事務所

であったため、当時のままで利用いただいています。トイレについても女性職員の利用に不具合が生じていることについても聞いております。そのことも含め、改修時期までは言明できないが、必要性は十分あると考えています。



シルバー人材センター

## 最近の畜産経営の実態について

**議員** 最近のセリ価格及び飼料価格の推移は？

**町長** セリ価格については令和4年度の平均価格は58万7千7百56円で、前年比10万3千6百43円の値下がり、令和5年度は5月までの平均が54万2千5百63円となっております。令和4年度比4万5千1百93円の値下がりとなっております。また飼料価格については令和3年度から4年度にかけて値上がりし、2年で1トン当たり約3万円の価格上昇となっております。

**議員** 畜産農家からは次のセリをやめるといった話や頭数を減らすといった声があがっている。経営者数の減少や生産頭数の減少は町にとっても財源の大きなマイナスに繋がるのでは。セリ価格の低迷、値下がり、飼料価格の高騰に対し、さらなる助成の考えはないか。

**町長** セリ価格と飼料価格について経費が上がって売値が

下がっている状況です。働く対価として、自分の労賃が出ない状態となっており、特に高齢の畜産農家にとっては深刻です。これらの価格が農家には負担になっているので、町としても畜産経営から離れることがないような取組をしなければと認識しています。農家の方々に少しでも手助けになるようなことはしていくべきだと考えております。

**議員** ぜひ我が町も農家の方々を大事にし、できるだけ離農者がでないような施策を講じていただきたい。

**議員** 令和3年度末及び令和4年度末までの経営農家の実数の推移は。

**町長** 和牛経営農家が、令和3年度末で108戸、令和4年度末が101戸と7戸の減少。養豚が3年度末、4年度末ともに15戸、養鶏が3年度末、4年度末ともに14戸で、どちらも増減なしとなっております。

早目の対策を願う。

議員のひとり言

# 町民の「安全・安心」について



今回は一昨年から提言する「雄川の寄り州対応」の進捗状況を踏まえ、町民の「安全・安心」について質問したい。

**議員** 災害時の情報発信体制について伺う。

**町長** 本町では、災害発生または、発生への恐れがある場合の情報発信は「**防災無線により周知**」を行っております。

また、気象庁等からの「**緊急速報メール**」や「**エリアメール**」配信もあるところで。

今年度、防災・災害避難情報の周知方法として、パソコン・スマートフォン・タブレットなどで「**避難所や災害発生状況等の情報**」をタイムリーに確認できる「**WEB版ハザードマップ**」の整備、準備を進めております。

**議員** 昨年九月の台風十四号時、雄川は【危険氾濫水域】を超えた。

その時の、「避難所対応」「避難情報」災害警戒態勢と情報発信体制に危機感を感じた。  
今現在の「防災計画」状況を伺う。

**総務課** 南大隅町の地域における災害の特性や、防災に関し、防災上重要な施設の管理者が処理すべき業務等が整理されております。法の改正や県の改正あった場合に、本町も一部改正を行って活用しているところで。

**議員** 防災計画資料の「津波避難対象地域」根占地区903世帯・佐多地区744世帯・平成27年4月時点8年前の資料。津波避難対象世帯、避難誘導するには非常に多いが、今現在、「津波対策」対応されているのか伺う。

**町長** これまで新型コロナウイルス感染症拡大防止から、津波に対する具体的な訓練を実施しておりませんでした。先だつて佐多伊座敷地区で避難訓練等を行

ったところで。

**議員** 津波対策は、広域の議員の方々とも「東日本大震災の教訓」を基に「防波堤」等の建設陳情を、合同でしないといけない。また、各首長の連携を願いたい。

「地震・津波・大雨・台風」避難所は様々に変わるが、【避難所設置状況・対応】を伺う。

**総務課** 「台風避難所」22箇所、「台風含む地震」一次開設15箇所、二次開設5箇所、状況に応じて追加設置計画です。

**議員** 令和3年9月提言の「避難所・収容人数・備蓄品」表示の取り組みは進んでいるのか伺う。

**総務課** 避難所看板設置が有るところ等を参考に再度検討してまいります。

**議員** 令和3年9月提言の「雄川の寄り洲」進捗状況を伺う。

**建設課** 県大隅地域振興局河川港湾課から「現地調査のうえです。実施検討」との回答を得ております。

## 地域住民の買い物支援について

**議員** 地域住民の買い物支援について伺う。

**町長** 令和5年度新規事業として、地域を巡回する【**移動販売車導入支援事業**】を創設、【**縁ひろがれプロジェクト事業**】

の調査結果を踏まえ、必要とされる支援策の検討を考えております。

## 商工業の活性化について

**議員** 町内の商工業の現状をどのように捉えているのか伺う。

**町長** 人口減少による消費額の減少、店主の高齢化や後継者不足、空き店舗の増加など、**厳しい経営状態が続いていると認識**しております。

**議員** 買い物支援には、学校跡地を活かした「拠点づくり」を。

商工業種へは、農畜水産同様の支援と、支援事業の「情報発信の強化」を。

### 議員のひとり言

風潮に流されるな、ヒントは過去にあり



シルバー人材センターの  
会員及び就業人員の確保、  
さらに農業・商工業者支援を  
目的として、シルバーに依頼する民  
間事業者への補助ができないか

町長

業務を請け負う他の事業者への影  
響も考えられることから慎重な判  
断が必要であり、現段階では考え  
ていない

議員

シルバー人材センター  
(以下、シルバー)での就業  
に関して、ジャガイモの集荷など  
重労働の作業について、労力に対  
しての単価も低く、受け手不足の  
課題があると聞いているが、そこ  
に対して財政支援で対応できない  
か伺う。

町長

ジャガイモの集荷等、本  
当に重労働で大変な作業だ  
と思っております。そして、そう  
いった仕事への従事について、な

議員

なかなか返事が重いという状況も聞  
いております。  
しかしながら、労働の対価の引  
き上げで対策をするとしたら、ま  
ず農業で働かれる方々の賃金、農  
業委員会等での基礎額を上げるべ  
きであると思っております。

議員

シルバーは依頼者が自ら  
決めた時間で作業を依頼す  
ることができ、シルバー独自の保険  
制度で依頼者・会員ともに労働環  
境の整備が優遇されている。高齢

者の方の生きがいづくり、町の限  
られた人材の活用を含めて、シル  
バーの運営については今後さらに重  
要になってくる。町全体の労働力  
の課題を踏まえて、柔軟な対応策  
を考えていくべきであると思う。

議員

町民の就業についての支  
援を進めていく上で、ブロ  
ンズ就業支援協議会(以下、ブロ  
ンズ)もあるが、現在の事業と課  
題は何か伺う。

町長

本町に設立されているブ  
ロンズは、労働者の希望に  
応じ、臨時的かつ短期的な就業の  
確保及び情報提供を行うこと、移  
住定住の事業に関する事、お試  
し住宅の管理運営に関する事、  
6次産業化の支援に関する事業等  
に取り組んでおります。

画光  
企観課長

ブロンズの課題として、  
労働者派遣事業の許可が取  
得できず、仕事の求人情報の提供  
はできているものの、斡旋ができ  
ていないところがあると思います。

議員

現在、設立検討中と聞い  
ている特定地域づくり事業  
協同組合(以下、特定地域づくり  
組合)は、人口急減地域のみ県か

ら認可を受けることが可能な組織  
であり、派遣事業を届出だけで行  
うことができる。また、何よりも  
国からの財政支援が非常に優遇さ  
れている。各種事業への柔軟な人  
材の活用、そして、町の財政的な  
負担軽減を含めて、ブロンズに求  
められていた役割をより有利に進  
められることができる組織だと考  
えられるが、今後、特定地域づく  
りとブロンズの役割をどう差別化  
していくつもりか伺う。

町長

ブロンズと特定地域づ  
くり組合の役割については、  
移住定住対策、労働者の確保、担  
い手不足の解消という観点からは、  
類似する点もあるかと考えてお  
ります。

ただし、特定地域づくり組合に  
ついては、どういった流れで事業  
が進むのか、人が来て、そこに仕  
事があつて、協力する事業者があ  
つて、それが全て揃った上でこの  
財政支援は受けることができます。  
特定地域づくり組合ができるの  
かどうか、今年度は予備調査を実  
施し、町内の事業者の方々と協議  
をしていきたいと考えております。

議員のひとり言

社員がいきいきと働き、頼れる上司がいる。今の時代の理想とする職場とは。

## 議員研修会



令和5年5月16日(火)、川商ホールにて町村議会議員研修会が開催され、「震災時の避難所対策について」及び「AI普及による生活、地方行政への影響と課題」ChatGPTによる新たな可能性」と題した講演が行われました。

また、翌日17日(水)には本県製造業の競争力強化について、県の産業立地課より説明を受けました。

※ChatGPTとは人口知能(AI)を活用して対話形式で質問に回答するサービスのこと

南大隅町議会 広報広聴常任委員会では、議会広報誌のモニターを募集しています。年4回発行される「みんなの議会」に対して、皆様のご意見やご感想をいただき、今後の議会広報活動に活かしていきたいと考えています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】 南大隅町議会事務局 ☎0994・24・3141

## 編集後記

「老いたる馬は、道を忘れず」

これは私が議員活動を進めるに当たり政策立案の基本としている言葉です。歳をとった馬は自分の通って来た道はよくよく知っており迷うことはないと言いう事に転じ「高齢者の知恵と経験には間違いがない」と言う教訓であります。

人生経験豊富な皆様のご意見を網羅しつつ、新たな視点から常識を超えた発想が求められる時代ではないかと思えます。

高齢化率50%を超えてきた本町ではありますが、元気な高齢者がまだまだ多い町だと思えます。今後のまちづくりにおいては、高齢者の皆様のご意見こそがまちづくりの根幹であると考えます。

一般質問において各議員も、それぞれの分野において皆様のご意見を頂戴しながら、本当に幸せを実感できるまちづくりを目指して歩みを進めて参ります。

上之園健三

## 表紙ともう一枚



サップを楽しむ様子

## お知らせ

9月会議は、7日、8日、20日、本庁議会議事堂で開催予定です。

「みんなの議会」で見ることができない議会がご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

### 発行責任者

議長 松元 勇治  
副委員長 幸福 恵吾

委員 長 平瀬 十助  
委員 後藤 道子  
委員 森田 重義  
委員 上之園健三  
委員 津崎 淳子

### 広報広聴常任委員会